

「田中家長寿の秘訣」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

私が「所属」している「田中家の一族」には長寿の者が多い。単に長寿というだけでなく、皆揃って元気である。病気になったとか、入院したとか、あまり聞いたことがない。秘訣は「創造的な仕事」である。

父(健二)は、昭和8年生まれであるが、まったく病気知らず。毎日自動車を運転し、いくつもの水彩画教室を掛け持ちして、たくさんの生徒に植物画を教えている。題材にする植物(花や果実)は、自分で野山を探し、人数分を揃える元気ぶりだ。



父・田中健二画 「栗」

母(君子)は、昭和15年生まれ。少し前に一度手術入院をしたが、今は海外旅行に行けるほど元気である。毎日絵筆をとって、緻密な絵を描いている。



母・田中君子画 「トレドの街角」

両親だけでなく、田中家の家系は、おじやおばもみな元気である。伯父の義一(父の兄)は、彫刻、陶芸、絵画、写真、工芸と何でもこなす超人で、すでに深谷

市では、「伝説の人物」となっている。その奥さんの弘子もまた、詩情豊かな美しい絵を描く。



「巨大彫刻」に挑む伯父・田中義一



伯母・田中弘子画 「梅檀の青空」

昨日深谷市で、長寿を祝う会をして「特上うな重」を楽しんだ。毎年やっても、あと20回ぐらいできそうである。本当に、有難いことだと思う。

右から、父・義一・母・弘子・雪子(伯母)

